

令和6年度

阿南中学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

○わかりやすさや必要に応じたICT機器の活用を重視し、生徒の思考を深める授業の実践
○受け入れ合い、学び合う授業の実践

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員 山田 泰史	委員 校長:霜田泰徳、副校長:吉岡博文、教頭:井村俊吾、教務:大岩秀樹、研修主任、各教科主任、各学年主任
------------------	---

校長

霜田 泰徳

【各校の取組状況の把握について】

メンター研修を軸として、全ての教職員で課題や成果を共有しながら授業実践、教育活動を進める。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○基礎的・基本的な知識・技能を習得し、学力の向上をめざす生徒が多い。 ●語彙力の向上や知識・技能の定着に課題がある。	・語彙力の向上により、自らの考えや思いを的確な言葉でまとめることができる。 ・様々な学習活動や生活の場面で、習得した知識・技能を活用することができる。	・教科書等の内容を正確に捉えさせるために、アンダーラインを入れながら読み取らせる。 ・生徒が興味をもって学習に取り組むことができるように発問や教具を工夫する。 ・他学年、他教科の教員が相互に授業参観を行う。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○授業での意見交換や話し合い活動に積極的に取り組み、多様な角度からの見方・考え方を深めようとしている。 ●建設的な意見交換や、自らの考えを言葉としてまとめ、話したり書いたりして伝えることに課題がある。	・自分の考えや思考の過程を的確な言葉でまとめ、他者にわかりやすく伝えるよう話したり書いたりしながら、効果的に伝え合うことができる。	・ペア学習やグループ学習等多様な学習形態の機会を効果的に設定する。 ・ICTを効果的に活用した発表や話し合い活動をさせる。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○授業に一所懸命取り組むことができる。また、自らの力を伸ばしたいという意思をもち学習に取り組むことができる。 ●わからないことや少し難しいことに対して深く考えたり問い続けたりすることに課題がある。	・学習課題や疑問点を意識し、学んだことを活用しつつ試行錯誤しながら粘り強く解決策を追究できる。	・発問を工夫して対話を重ねたり、タブレットを活用して共同で課題に取り組んだりする活動を多く取り入れている。 ・教員研修(メンター研修)を教員相互の学び合いの場とし、実践事例について情報共有を行う。			

令和6年度 学力向上ロードマップ

